

KDC280-PY

患者照合マニュアル

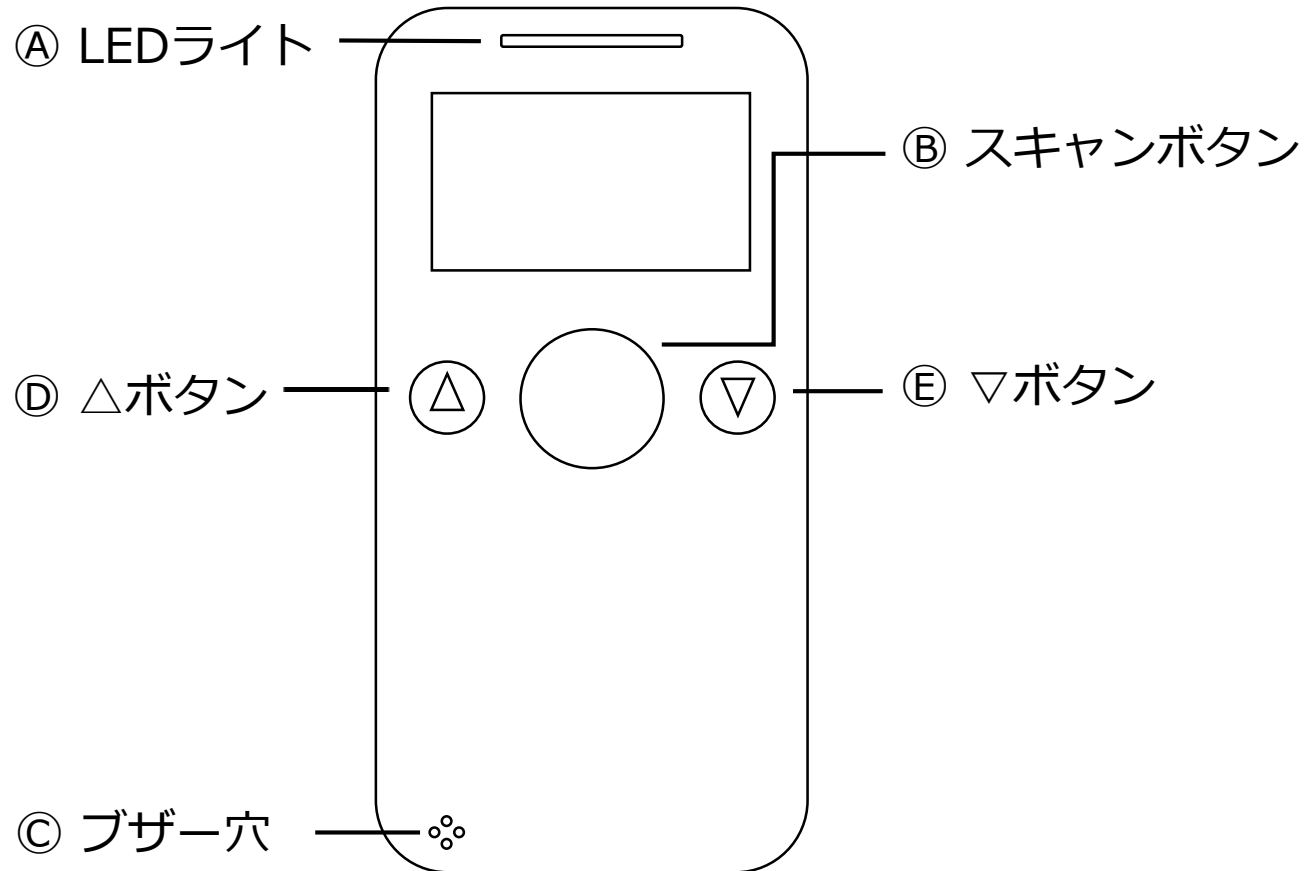
小林クリエイト株式会社

Ver.1.0

目次

- 基本操作 3
- 電源ON/OFF 4
- 時間の設定 5
- メニュー画面 6
- 桁数設定 7
- 照合方法 10
- バーコード種の読み取り無効化 . . . 11
- ログデータ確認方法 12

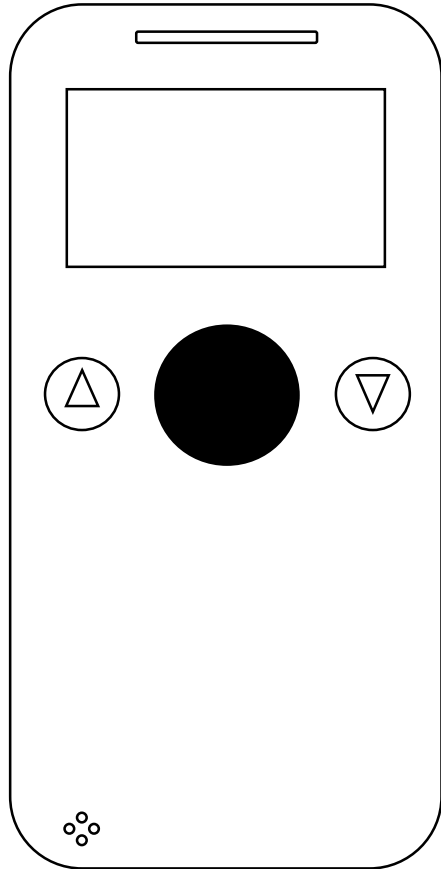
基本操作



- ① 照合結果に合わせて緑/赤に点灯します。
- ② 読み取り時に使用します。
「決定」ボタンとしても使用をします。
- ③ ブザー音が流れます。
- ④ メニューモードにて上移動時に使用します。
- ⑤ メニューモードにて下移動時に使用します。

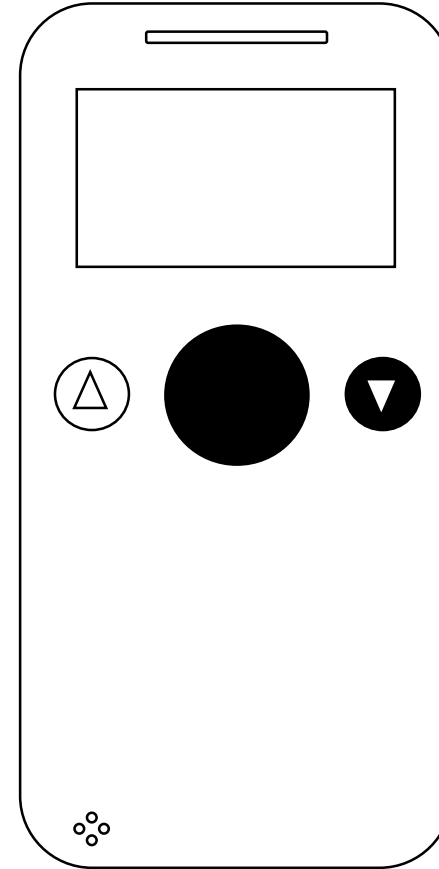
※④の▲と⑤の▼を同時押しすると
メニュー画面に戻ります。

電源ON/OFF



電源ONの場合

スキャンボタンを
3秒間長押し



電源OFFの場合

スキャンボタンと
▽ボタンを同時に
3秒間長押し

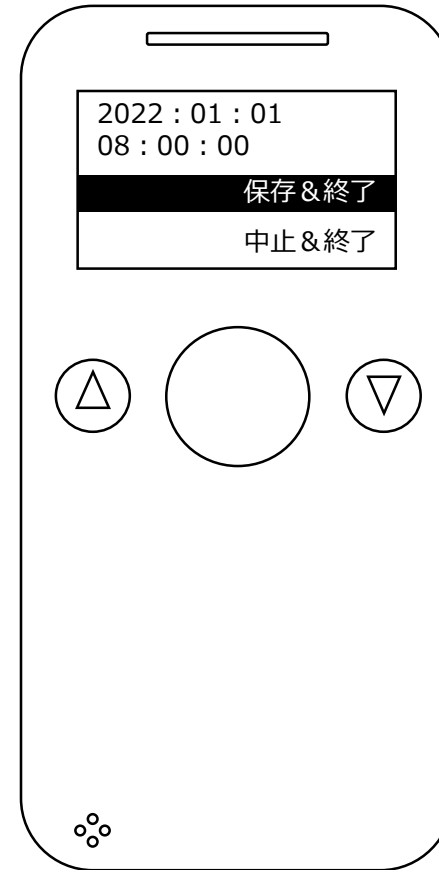
時間の設定

電源をONにすると時間設定画面が表示されます。
日付、時間をご確認ください。

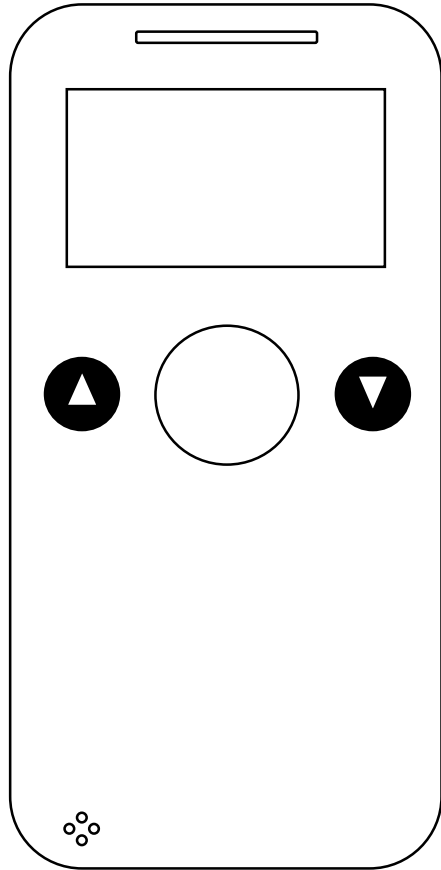
△▽で日付、時間の調整の後
スキャンボタンで決定

保存&終了を選択

※ここでの時間設定がログデータの時間に反映されます。

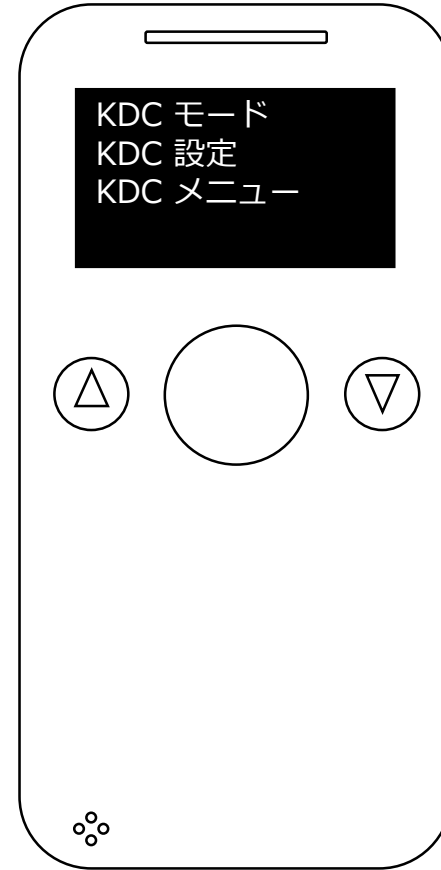
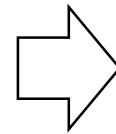


メニュー画面



メニュー画面表示

△ボタンと▽ボタン
を同時押し



桁数設定

※リストバンドと注射ラベル等の照合対象のデータが同一の場合

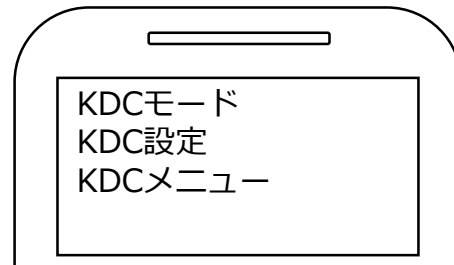
リストバンドの患者ID（8桁）



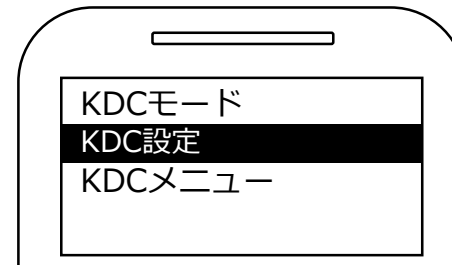
注射ラベル等の照合対象データ（8桁）



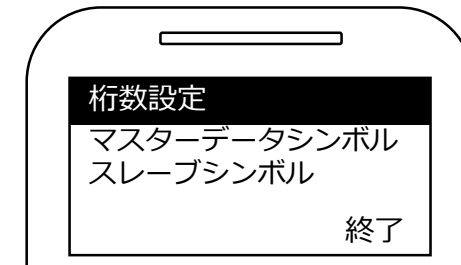
① メニュー画面



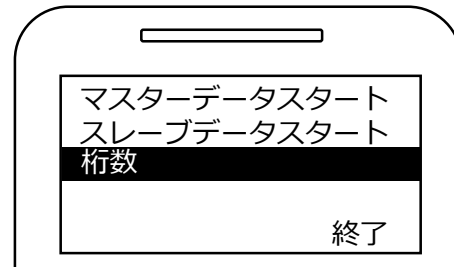
② KDC設定



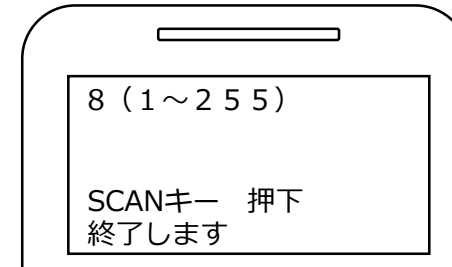
③ 桁数設定



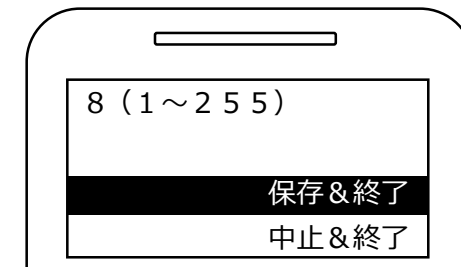
④ 桁数



⑤ ▲▼にて8に設定



⑥ 保存&終了



桁数設定

※リストバンドと注射ラベル等の照合対象のデータが異なる場合

リストバンドの患者ID(8桁)
(マスターデータ)

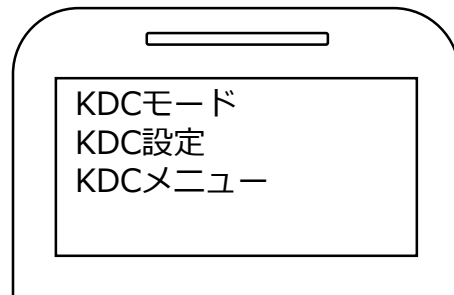


注射ラベル等の照合対象データ(12桁)
(スレーブデータ)

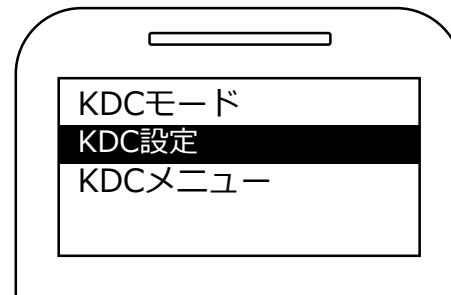
※先頭から4桁は通し番号等で
5桁目から患者IDが開始



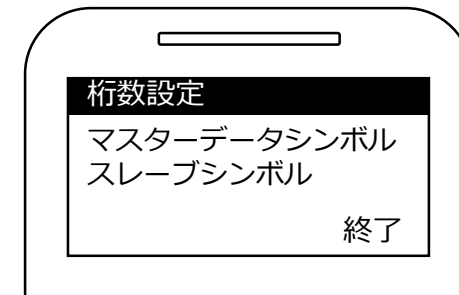
① メニュー画面



② KDC設定

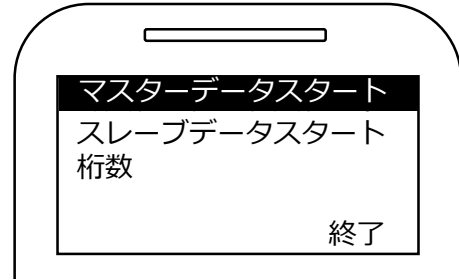


③ 桁数設定

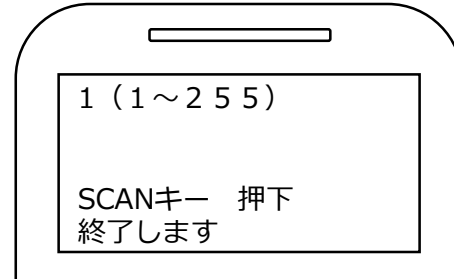


次ページに続く

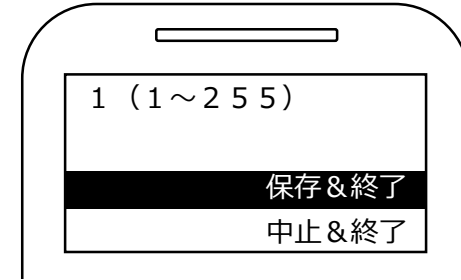
④マスターデータスタート



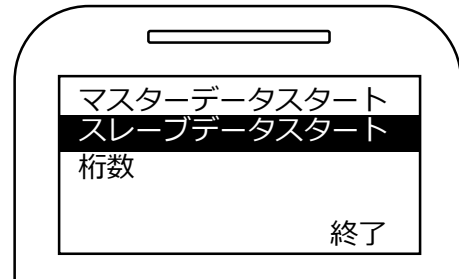
⑤▲▼にて1に設定



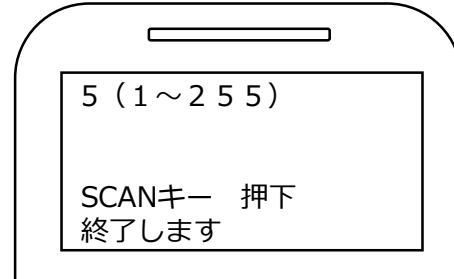
⑥保存&終了



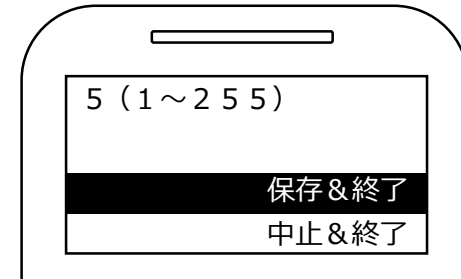
⑦スレーブデータスタート



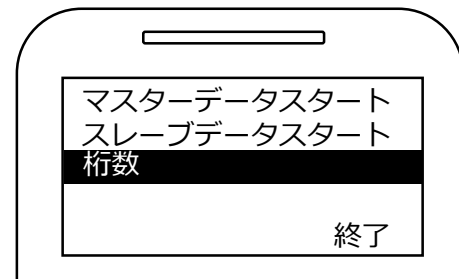
⑧▲▼にて5に設定



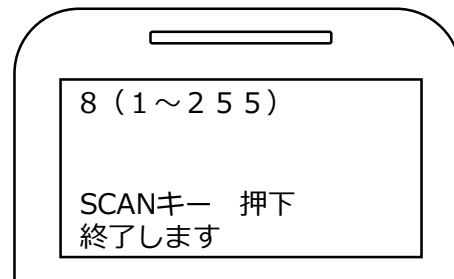
⑨保存&終了



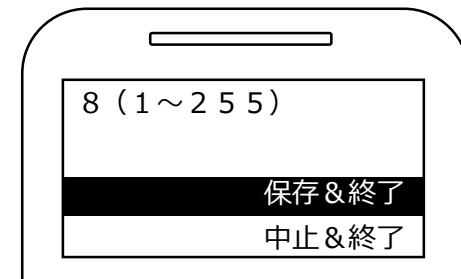
⑩桁数



⑪▲▼にて8に設定

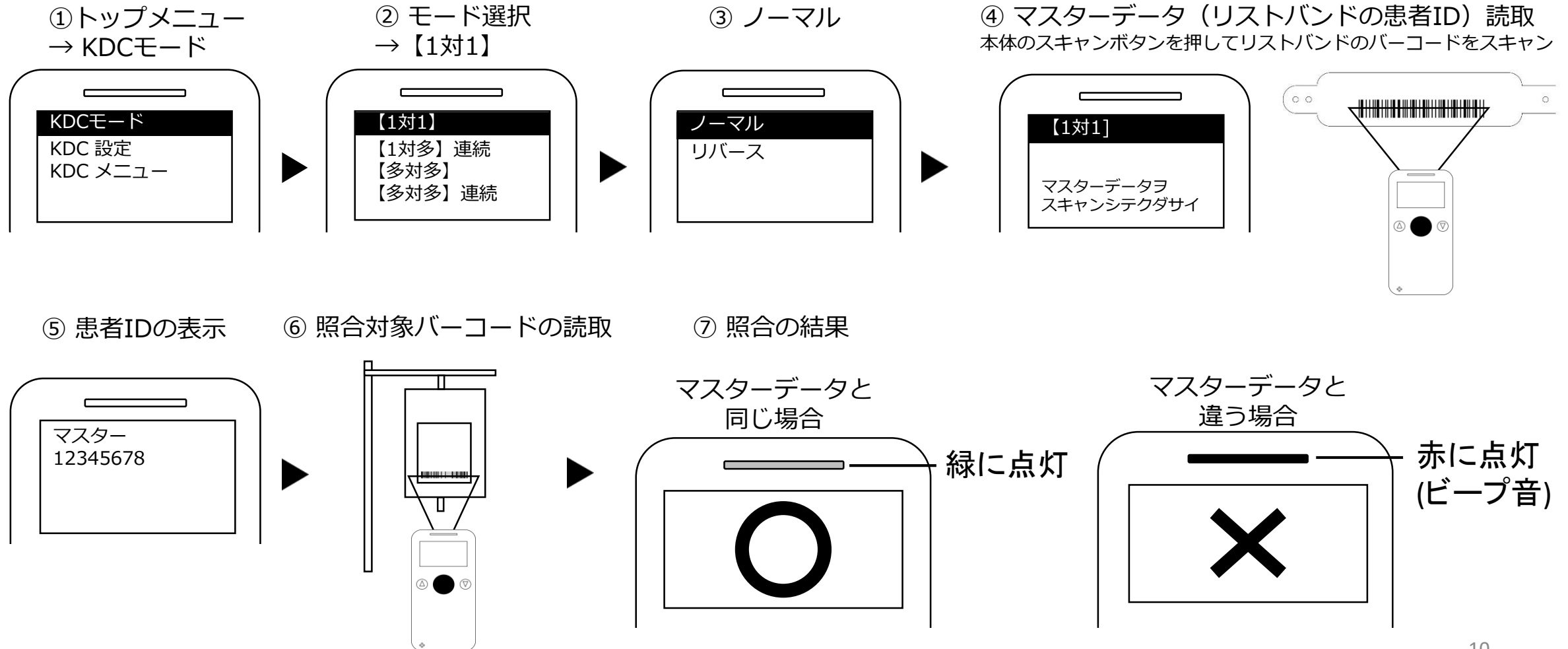


⑫保存&終了



照合方法

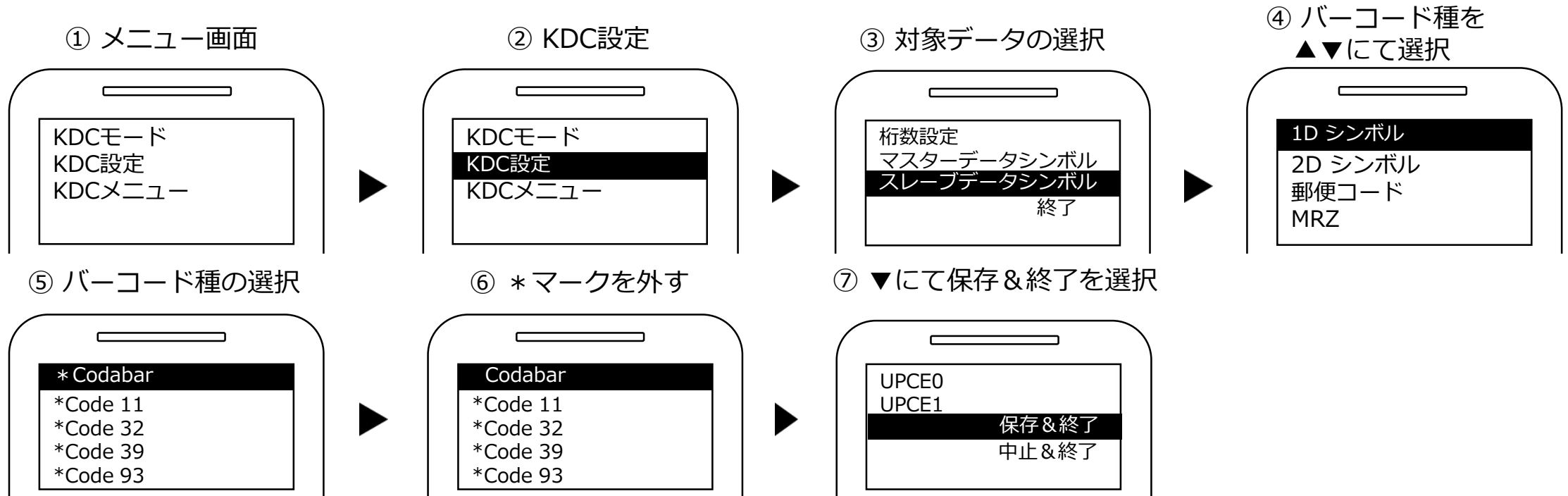
マスターデータ・・・リストバンドに表示された患者ID
スレーブデータ・・・注射ラベル等の照合対象に表示された患者ID



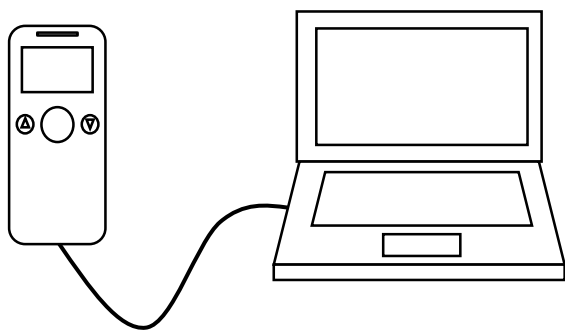
バーコード種の読取り無効化

出荷時設定では対応する全てのバーコード種の読取りが可能ですが
以下の手順により特定のバーコード種の読取りを無効にすることができます。

利用例：リストバンドのバーコード（Codabar）を2度読取して照合一致扱いになることを避けるため
注射ラベル等の照合対象（スレーブデータ）のCodabar読取を無効にする

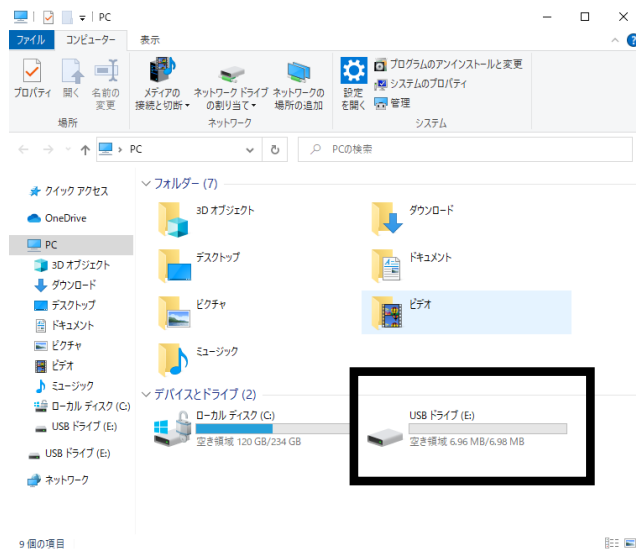


ログデータの確認方法

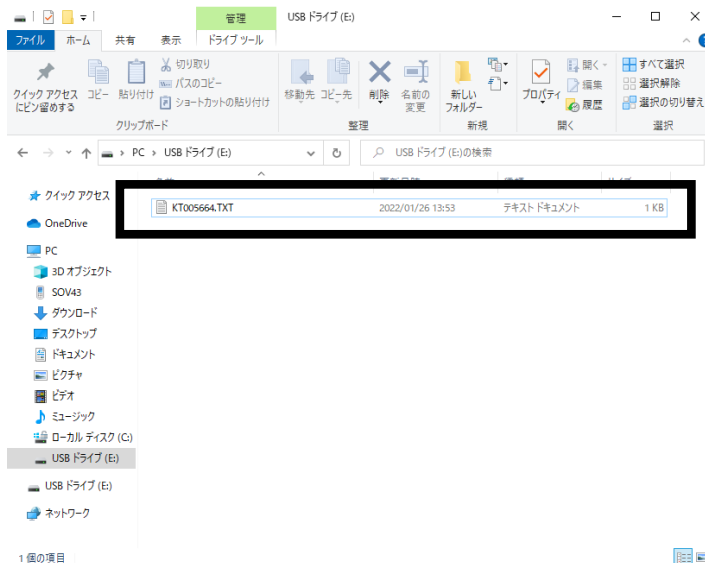


KDC280本体とパソコンを
付属USBケーブルにて接続

①ドライブを選択



②TXTデータを選択



③照合ログデータの確認

